



**SIIEJ2022**

**国際教育の社会的責任と貢献のあり方を考える**

**外国人留学生と外国人材のための持続的キャリア形成を目指して  
～海外事例から日本は何を学ぶべきか～**

フォースバレー・コンシェルジュ株式会社  
代表取締役 柴崎洋平

世界中の人材と企業を繋ぐ、国境を越えたグローバル採用支援事業を展開。



代表取締役社長

**柴崎 洋平** Yohei Shibasaki

1975年東京生まれ。1998年上智大学卒業後、ソニー株式会社に入社。2007年フォースバレー・コンシェルジュ株式会社設立。世界中でのグローバル採用支援事業を展開。2013年～上智大学非常勤講師に就任。2013年世界経済フォーラム（ダボス会議）Young Global Leaders 2013選出、2018年にスイスで開催されたダボス会議では移民問題に関するパネルディスカッションで登壇。2017年および2019年、厚生労働省の外国人材雇用対策に関する研究会委員に就任。2019年一般社団法人外国人雇用協議会 理事に就任。

会社名 フォースバレー・コンシェルジュ（株）

所在地 東京都千代田区麹町6-6-2  
WeWork東急四谷 5F

設立 2007年11月26日

資本金 1億円

海外拠点 ベトナム、ミャンマー、中国

資格取得/  
認定  
人材紹介業 厚生労働大臣許可番号  
13-ユ-303076  
労働者派遣業 厚生労働大臣許可番号  
派13-304159  
在留資格「特定技能」登録支援機関  
登録番号 19登-000328

プライバシーマーク使用許諾事業者  
「えるほし」最高位認定企業



取締役



取締役  
橋本 和宏

社外取締役



取締役  
竹田 亜希

非常勤監査役



公認会計士  
日浦 正貴



公認会計士  
河野 浩人

アドバイザー



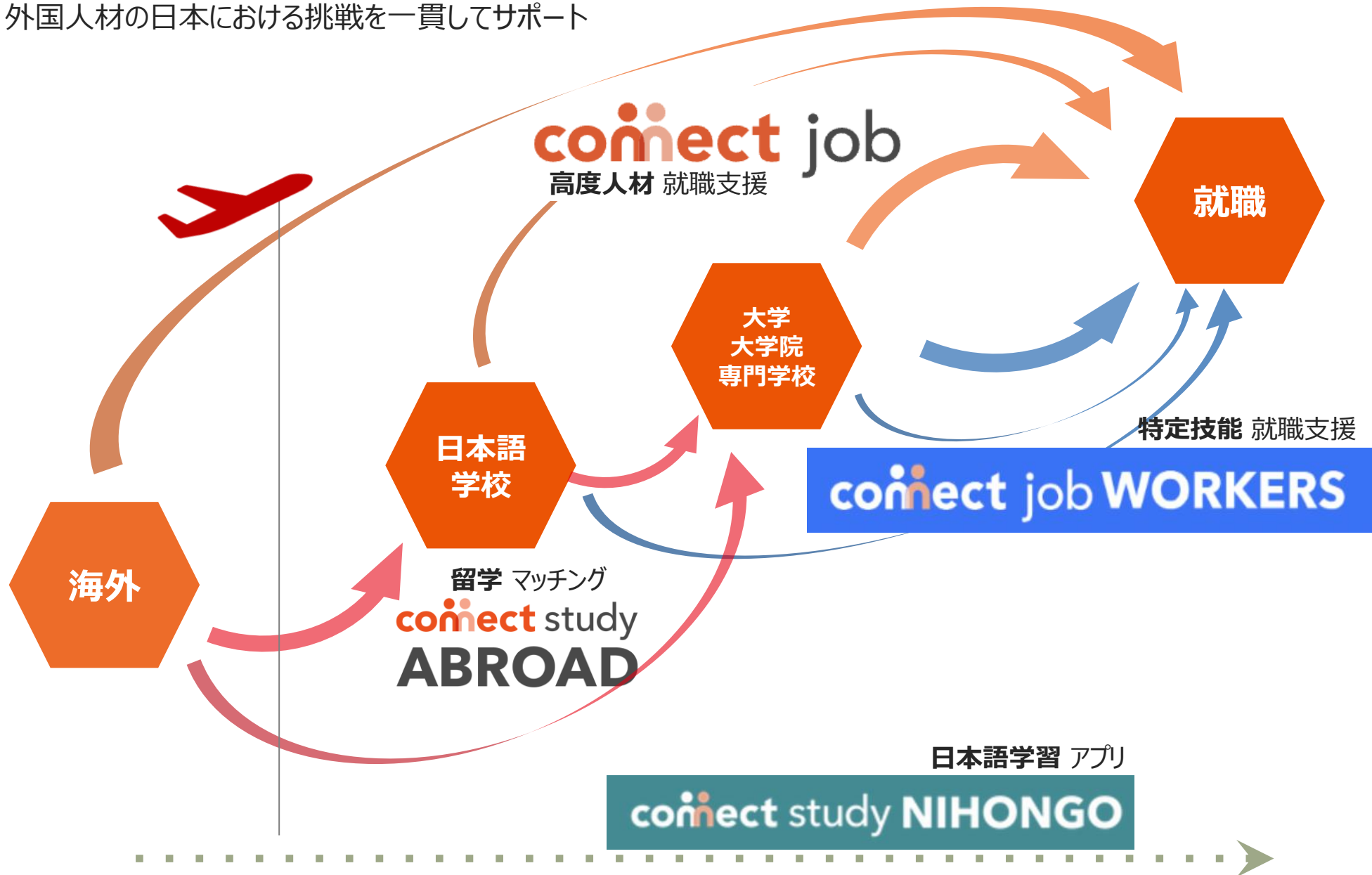
クオンタムリープ株式会社  
代表取締役  
ファウンダー&CEO  
出井 伸之

テクニカル  
アドバイザー



Tably株式会社  
代表取締役  
Technology Enabler  
及川 卓也

外国人材の日本における挑戦を一貫してサポート





アジアを中心に、世界各国にはまだ日本就職希望者が多数存在 ※掲載の写真はコロナ前の様子



シンガポール国立大学 (NUS)



台湾大学



インドネシア ジョブフェア



ベトナム ハノイ工科大学



インド工科大学 (IIT) ボンベイ校



インド工科大学 (IIT) ハイデラバード校



ネパール トリブバン大学IOE

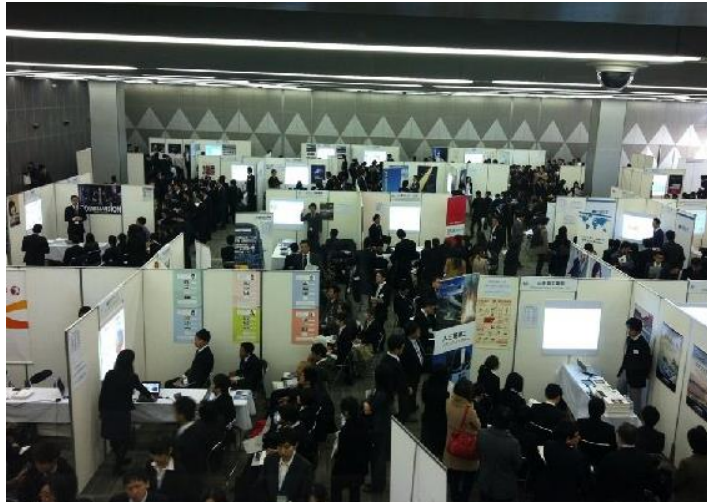


UK ジョブフェア



US ジョブフェア

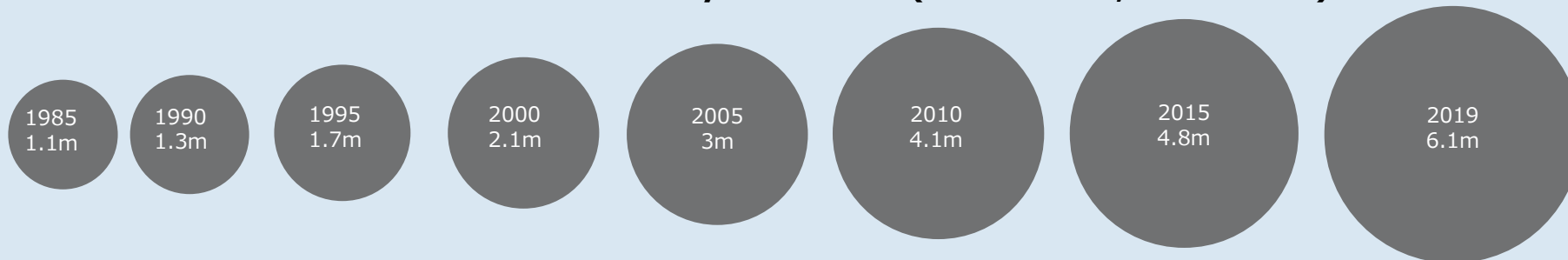




外国人雇用において  
**日本が他国に優位な点は何か？**

## 世界の留学生数の継続的な増加 : 2011年: 430万人→2019年: 606万人

Growth in internationalization of tertiary education (1985-2019, in millions)



Source: OECD and UNESCO Institute for Statistics.

## 留学生受け入れ大国の米英豪では、留学生から巨額の経済インパクトがもたらされる

Academic year 2019-2020



留学生受け入れ数	1,075,496	556,625	440,667
経済インパクト (授業料+居住コスト)	345億ドル (≒4兆7千億円)	156億ポンド (≒2兆5千億円)	260億AUD (≒2兆4千億円)

\*経済インパクト弊社試算

## 留学生受け入れ国 Top10 (2019年)

順位	国	人数
1	USA	976,852
2	Australia	509,160
3	U. K.	489,019
4	Germany	333,233
5	Russian Fed.	289,922
6	Canada	279,167
7	France	246,378
8	U. A. E	225,339
9	Japan	202,907
10	China	201,177

## 留学生送り出し国 Top10 (2018年)

順位	国	人数
1	China	993,367
2	India	375,055
3	Germany	122,538
4	Vietnam	108,527
5	South Korea	101,774
6	France	99,488
7	USA	84,349
8	Kazakhstan	83,503
9	Nepal	81,917
10	Saudi Arabia	77,406

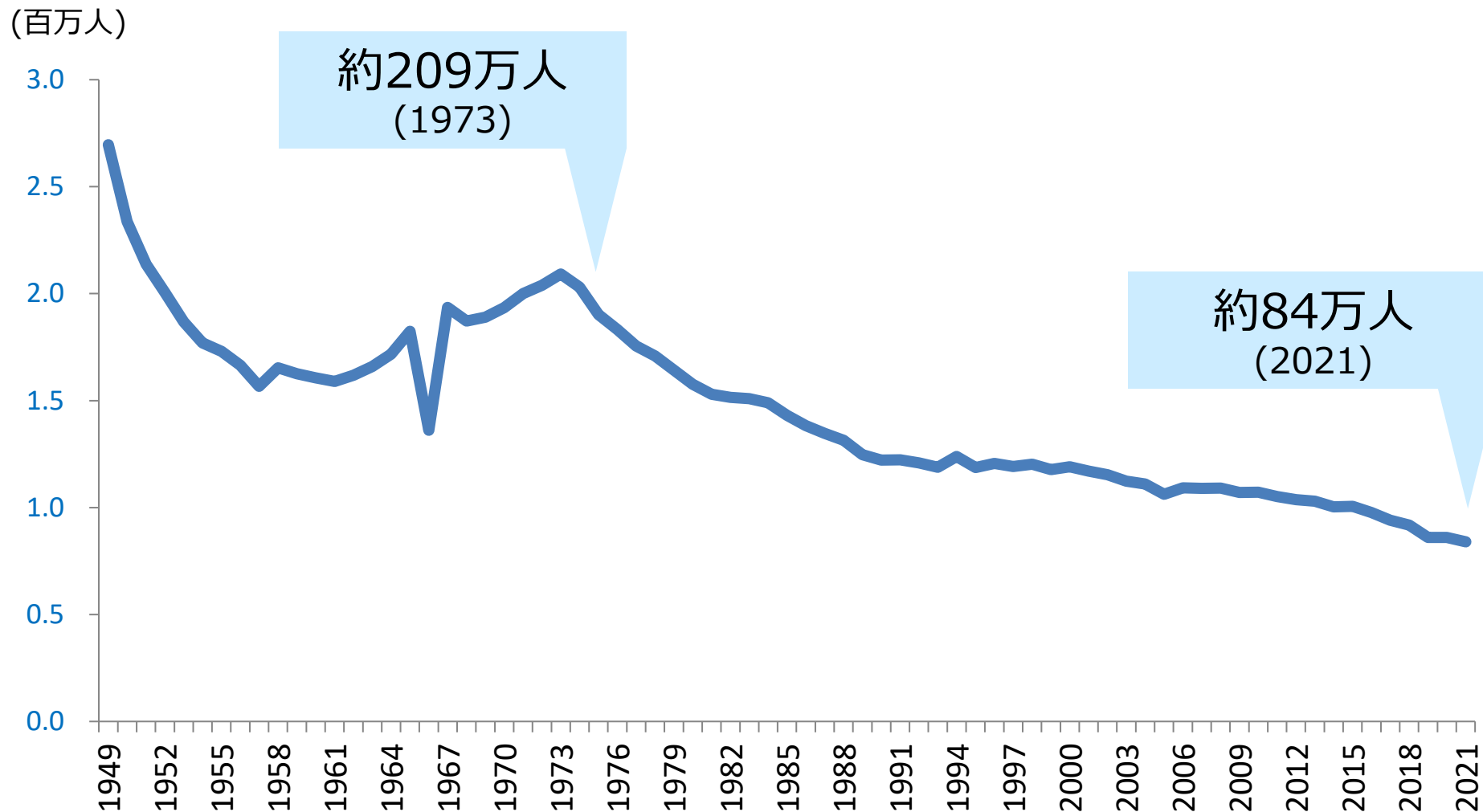
参考：日本からの留学生数は31,903人



日本は実は、

- ① 先進国で最も就労ビザをとりやすい国
- ② 外国人労働者を直近で世界で最も増やしている国
- ③ 高度人材(在留資格=「技術・人文・国際」)の新規ビザ発行数の伸び率が最も高い国
- ④ 外国人留学生の就職率が低いことが問題視されているが、大学・大学院生の就職率は世界的に見ても最高水準で、激増する専門学校生のみが20%台と低迷)
- ⑤ 高度人材の獲得では競合国が少なく、特に新卒や若手の採用において優位性有り

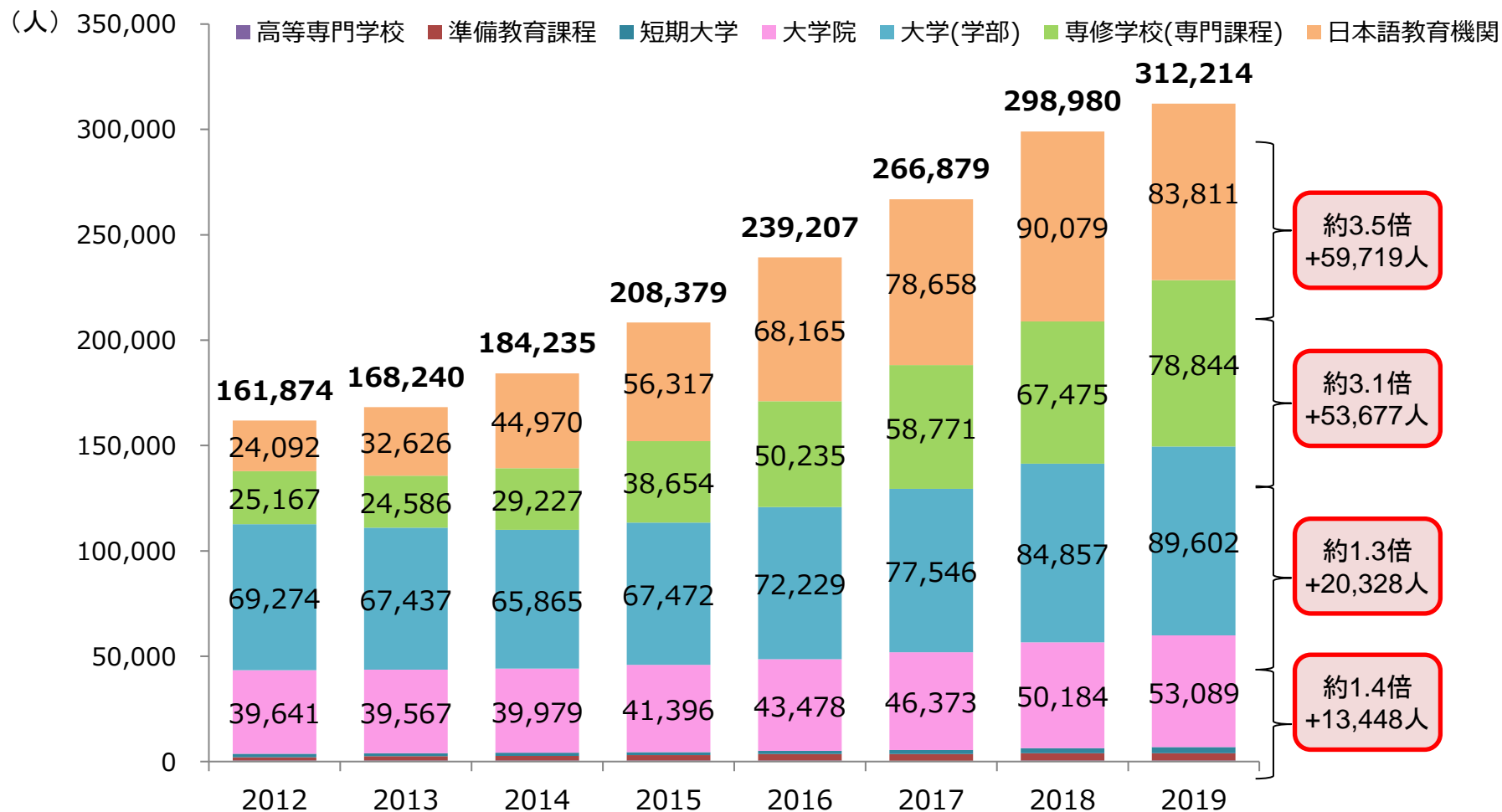
日本人の出生数はピーク時の1/3に近づいており、2050年迄には人口1億人を割り込む見込み。  
国内の人材争奪戦はより激化していく。



出所：厚生労働省「人口動態統計」

「日本語学校」の人数は7年で約**3.5倍**、「専門学校」は**3.1倍**

日本語学校および専門学校生の増加により外国人留学生の総数が増加している

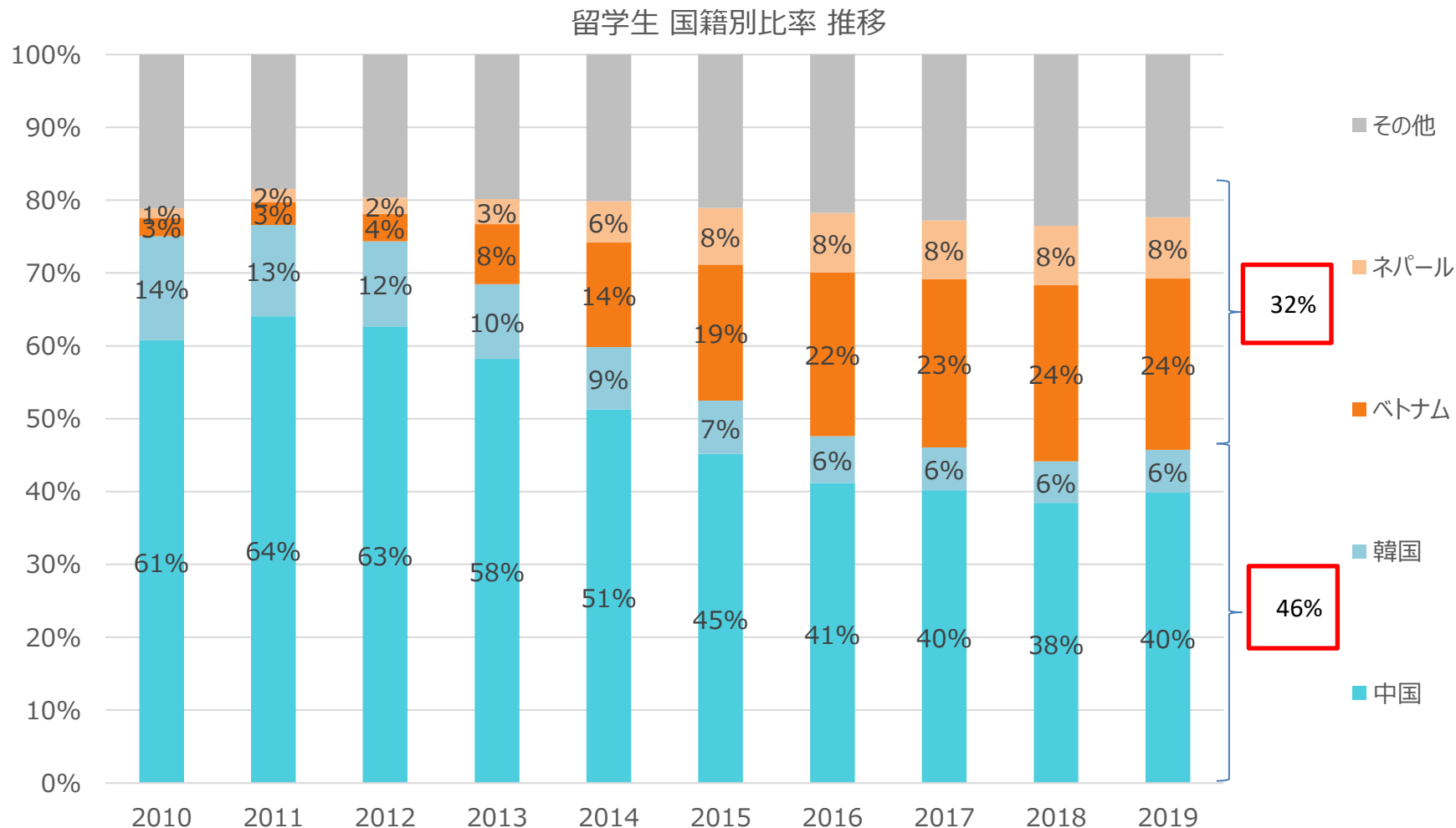


出所：JASSO「外国人留学生在籍状況調査結果」 平成24年度～平成31年度

[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl\\_student\\_e/\\_icsFiles/afieldfile/2020/04/06/datar01z.pdf](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/_icsFiles/afieldfile/2020/04/06/datar01z.pdf)

## 東南アジアの留学生急増、中国のシェア低下

中国・韓国の割合が減少し、ベトナム・ネパールを中心に東南アジアの留学生の割合が急増している。

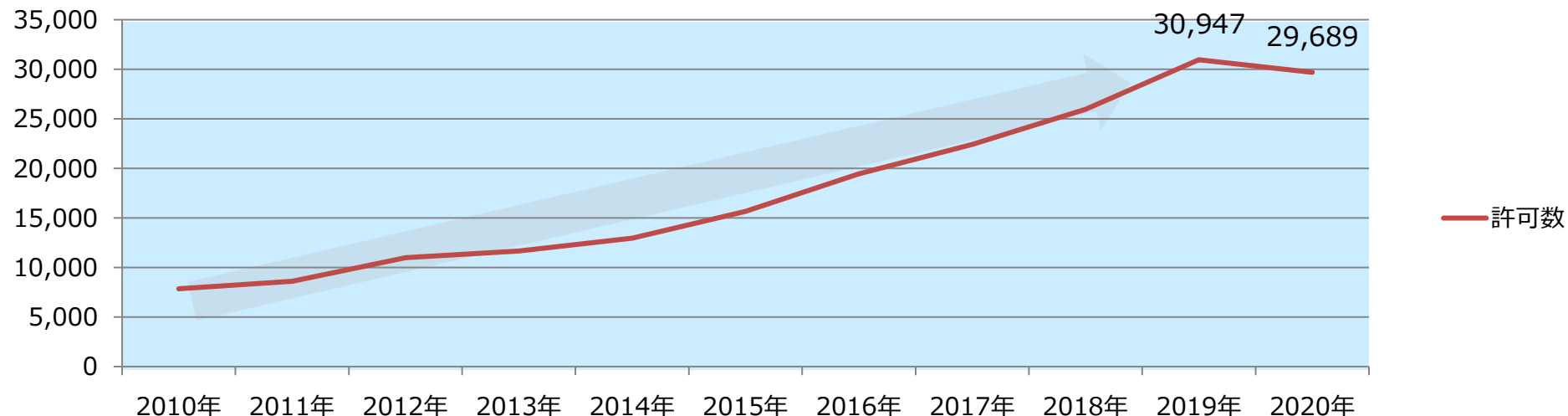


出典：JASSO「外国人留学生在籍状況調査結果」



外国人留学生の就職者数は、**10年で約4倍**に急成長した。

※2020年は新型コロナウイルスの影響で減少。

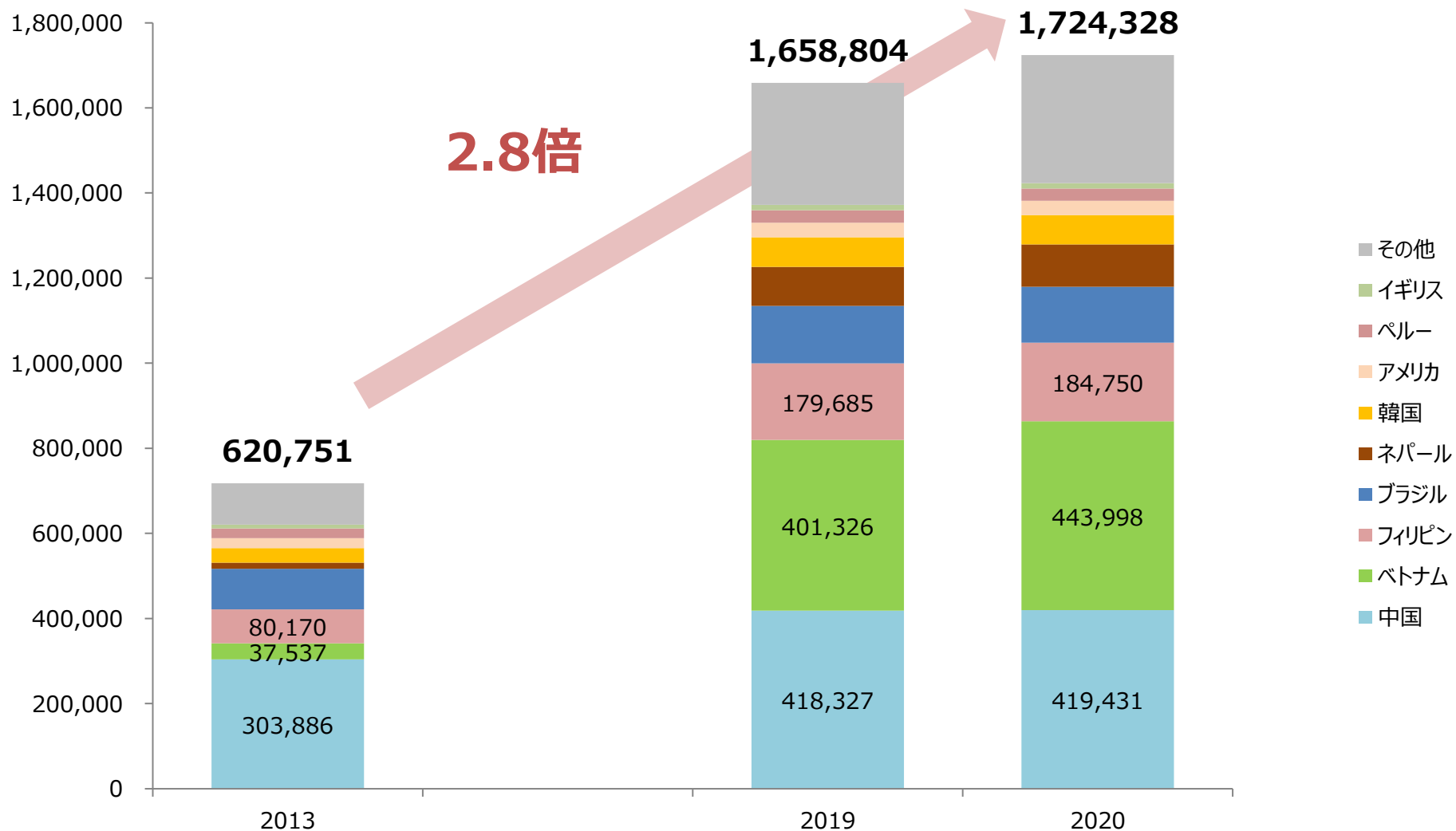


【外国人留学生の国内就職人数 推移】

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	<b>2020年</b>
処分数	8,467	9,143	11,698	12,793	14,170	17,088	21,898	27,926	30,924	38,711	<b>34,183</b>
許可数	7,831	8,586	10,969	11,647	12,958	15,657	19,435	22,419	25,942	30,947	<b>29,689</b>
不許可数	636	557	729	1,146	1,212	1,431	2,463	5,507	4,982	7,764	<b>7,764</b>
許可率	92.50%	93.90%	93.80%	91.00%	91.40%	91.60%	88.80%	80.30%	83.90%	79.94%	<b>86.85%</b>

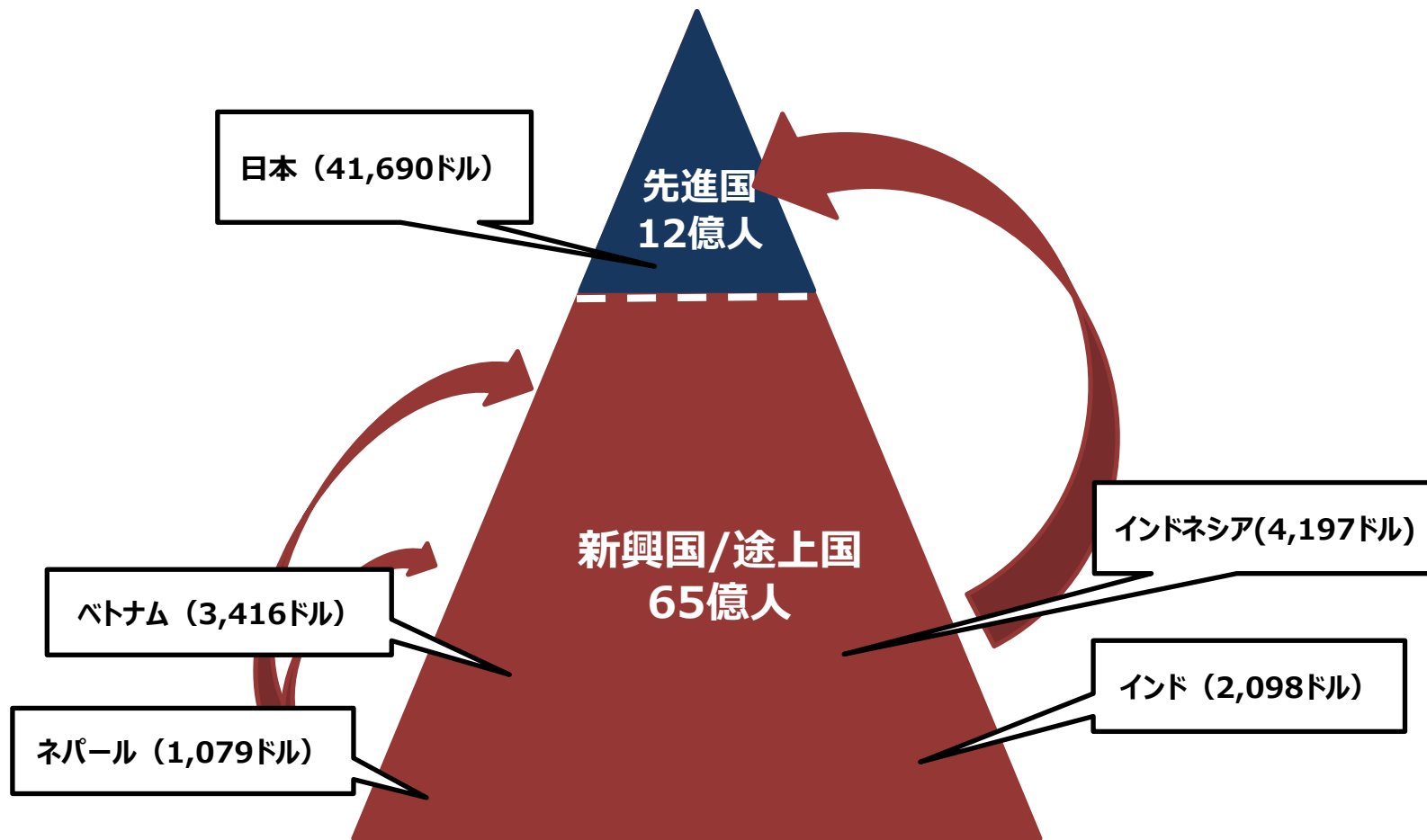
出典:法務省統計

日本は先進国の中で最も外国人労働者が増えている国。  
日本で働く外国人はわずか**7年**で約**3倍**に急増している。



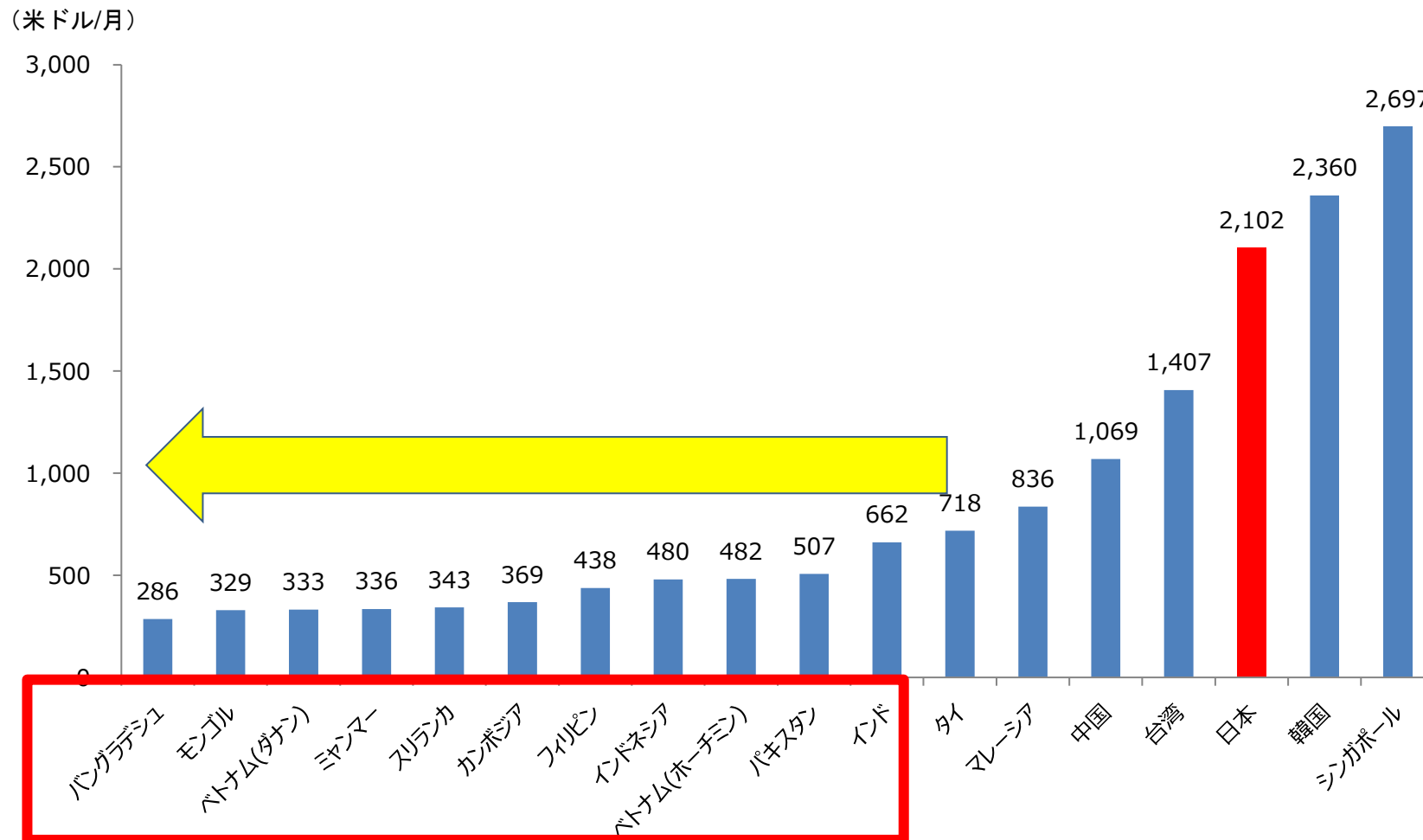
出典：厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ

「人材の国境を越えた移動」のファクターを定量的に分析、最適な送出国を選定する科学的アプローチが必要



※ ( ) 内は1人あたりGDP (USD)

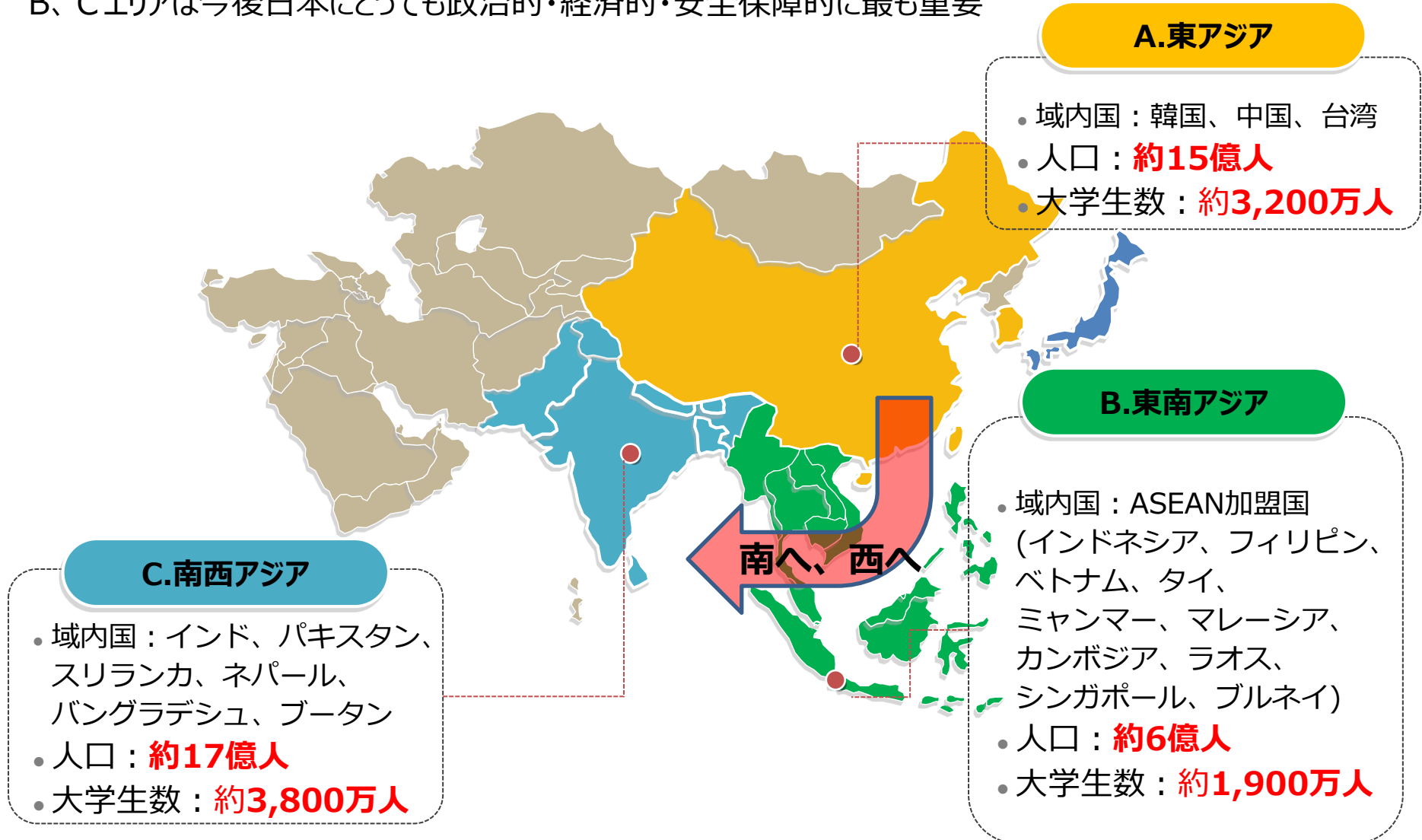
東南アジア、南西アジアの新興国の国々からするとまだ日本の初任給は魅力的！



出所：JETRO「各国投資コスト比較」(2018年5月)



- 優秀な人材を確保するため、日本との経済的ギャップの大きい**東南アジア・南西アジア**へターゲット国を変えていく必要がある
- B、Cエリアは今後日本にとっても政治的・経済的・安全保障的に最も重要



実際に、毎年弊社が就職支援を行っているインドの最高学府 インド工科大学（IIT）から  
日本就職選考会（昨年12月実施）への応募総数は、コロナ禍でも**5,238名**



インド工科大学（IIT）ボンベイ校



インド工科大学（IIT）ハイデラバード校



インド工科大学（IIT）デリー校



インド工科大学（IIT）ハイデラバード校

※掲載の写真はコロナ前の様子



アジア全域の高校/大学等で日本留学促進の実績。  
入口（入学）から出口（就職）を一貫してみせる弊社ならではのプロモーションを展開。



インド (プネ)



インド (ムンバイ)



タイ (バンコク)



ベトナム (ホーチミン)



ベトナム (ハノイ)



フィリピン (マニラ)



インドネシア (ジャカルタ)



中国 (上海)



マレーシア (クアラルンプール)

**“Study in Japan” だけでは打ち出しが弱い  
競争多い**



**“Study and Work in Japan”  
留学後にそのまま就労できるメリットを打ち出せ！  
競争少ない**

**世界で唯一「留学と就職」が結びつく国、日本  
就労の魅力を打ち出せば「留学生100万人計画」も可能！**



フォースバレーは  
“Study and Work in Japan”  
で  
「留学生100万人計画」  
を提唱、推進します！！

**Thank you**